

一般質問

12月
定例会

町長姿勢

課題への対応は

個々に調査・要望する



議員 矢野 昭三

問 自動車専用道8の字ルートは、多くの先輩がご苦労された要望活動の賜物。このたび、拳ノ川・佐賀間が事業化の運びになり、大変嬉しく思っている。

しかし、この計画には、佐賀北部と西方向とのインターがないため利用ができない。また、海岸を通る県道、町道は地震、津波で破壊されるため、鈴、熊野浦の命を守るためにも必要であり、その対策を問う。

答 大西町長

フルインター化についての地域からの声として国土交通省へ届ける。56号の改善についても要望する。

問 有井川で「ウロ千人、波打ち際は七里沖」という言葉

がある。避難路の法面に玉砂利等が黒土の間に点在しているが、調査したか。

答 大西町長

言い伝えであり、事務へ反映できていない。避難路の調査は、後日したい。

問 カツオ資源は海外巻網漁

等により減少傾向にある。国際的な会議での発言が必要と思うがどうか。

答 大西町長

国際会議の発言は他に任せが、引き続き国、県関係機関へ働きかける。

答 大西町長

足している。また、不破原の水位が高く営農並びに豪雨時は人家へ災害の恐れがあるため、改善策を問う。

四国電力が冬場に点検をしている、河川水の浸透が確認されれば早急に対応願う。堆積土砂は一部取り除く。

問 市野々川では発電所の放水トンネルが川底より低く、河川水が上流へと伏流しているため、農業・防火用水が不



インター予定地付近で行われた北部活性化協議会のイベント